

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 8 日

仕 事 の 内 容	ロードレース大会			
担当部署・課長名	社会教育 課	生涯学習 係	課長名	高田匡章

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	1 - 5	
【施策名】 スポーツ・レクリエーションの推進	総合計画書 (ページ)	43	

予算名	款 10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	保健体育総務費	事業 3	スポーツ振興事業費
-----	------	-----	-----	-------	-----	---------	------	-----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 小学4年生以上の方(市内在住、在勤問わず)	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 参加者数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 陸上競技を通してスポーツをすることの大切さや楽しさを感じてもらおう。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 参加者数(100%) (参加した人はその状態になったという認識)
	③ そのために何をしましたか。 ・大会の適切な運営 ・実行委員会によるホームページの運営 ・市内小中学校への広報 ・市内外関係各所への広報 ・当日の役員配置による安全確保 ・傷害保険加入	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 回数ではなく、全て実施した。 ・大会の適切な運営 ・実行委員会によるホームページの運営 ・市内小中学校への広報 ・市内外関係各所への広報 ・当日の役員配置による安全確保 ・傷害保険加入

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	724	639	618	/
	成果指標	②の数値	%	100	100	100	/
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	実施回数	1	1	1	/

3 経費	事業費(実績)		円	2,306,914	2,390,533	2,440,439	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	967,634	1,366,166	1,387,439	
		特定財源	円	1,339,280	1,024,367	1,053,000	
		(うち受益者負担)	円	372,280	341,600	333,000	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3	
		所要人数(再任用)	人	0.3	0.3	0.3	
		職員人件費(再任用以外)	円	2,480,100	2,475,900	2,473,200	
	職員人件費(再任用)	円	892,200	906,000	905,700		
	事業費+人件費	円	5,679,214	5,772,433	5,819,339		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	昭和40年頃、子どもを対象した事業から始まり、主に市のジュニア育成やスポーツ振興を目的としていた。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
	開始当初は子どもを対象とした事業であったが、その後、陸上競技協会の大人対象の事業と合併し、幅広い世代からの参加が得られるようになった。また、第47回から参加者を市外にも広く募集をかけ、記録計測を業者に委託し、ICチップによる記録計測やインターネット受付を実現した。また当初は無料であった参加費も徴収することとなった。	

仕 事 の 内 容	ロードレース大会					
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係	課長名	高田匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし					
	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）					
6 市民協働	取り組んだ	取組手法	②実行委員会・協議会、③事業協力（陸上競技協会・体育協会・交通安全協会の協			
			【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 実行委員及び協力団体からの意見を取り入れやすい環境を作る。						
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 障がい者の方が参加しやすい大会にするための工夫が必要。					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 伴走が必要な方にも安全に競技に参加していただくため、伴走者の事前把握及び伴走者用ピンスを用意した。					
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 ①障がい者の方がより参加しやすくするため、改善点の把握。 ②新たな課題として、交通規制に係る事前周知の改善が必要である。					
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ①招待選手として参加していただいている羽村特別支援学校より、障がい者の方も参加しやすい大会とするための課題・改善点を確認し、大会運営に取り入れていく。 ②警察より交通規制の事前周知についての意見を受けているため、それに基づき改善する。					
8 今後の方向性	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ①羽村特別支援学校から課題・改善点の確認及び引続き招待選手の参加依頼を行う。 ②警察からの意見に基づき、新たな事前周知看板の作成及び設置を行う。					
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
	成果	成果を向上させる。			経費	仕事の経費は維持する。